３／１８（水）の発表

報道発表資料の配付日時　３月18日（水）10時00分

発表項目（行事名）	令和７年度（2025年度）第２回タンチョウ越冬分布調査の結果について		
記者レクチャーのお知らせ	（実施日時）	発表者	
		発表場所	

概要

【ポイント】
タンチョウの越冬の分布・規模の把握等を目的として毎年実施している本調査について、今年度２回目の調査を８（総合）振興局、49市町村で実施し、1,902羽のタンチョウが確認されました。

1　調査実施日等

	令和7年度（2025年度）第2回	[参考]令和6年度（2024年度）第2回
調査日	1月23日(金)	1月22日(水)
調査区域	8(総合)振興局 49市町村	8(総合)振興局 47市町村
調査地区	計392地区	計269地区
調査協力者	関係市町村･給餌人など計191人	関係市町村･給餌人など計189人

※調査基準日の前々日及び前日並びに翌日及び翌々日を補足調査日としています。

2　タンチョウ確認羽数

令和７年度（2025年度）第２回	合計：1,902［成鳥:1,593、幼鳥：192、不明:79、飼育個体:38］ うち野生個体：1,864［空知:0、石狩:0、胆振:0、日高:18、オホーツク:29、十勝:359、釧路:1,406、根室:52］
令和６年度（2024年度）第２回	合計：1,927［成鳥:1,694、幼鳥：162、不明:33、飼育個体:38］ うち野生個体：1,889［空知:0、石狩:0、胆振:2、日高:20、オホーツク:0、十勝:324、釧路:1,429、根室:114］

3　今回の調査結果に対する有識者コメント概要

（有識者：正富（まさとみ） 宏之（ひろゆき） 専修大学北海道短期大学名誉教授）
○　繁殖状態は順調で、野生個体数は依然増えているとみなせる。
○　道央でも、個体数は順調に増加しており、多くは日高管内で越冬するため、ひとつの分離した地域個体群が形成され始めている。

その他、結果の詳細については以下のHPに掲載します。
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/tantyou.html

参考

第２回調査の実施については、１月15日(木)15時に報道発表済です。
第２回調査では、関係市町村をはじめ多くの方々の御協力をいただきました。
また、本事業は、平成29年度（2017年度）から北海道と包括連携協定を締結している日本航空株式会社と協働で実施しています。

報道(取材)に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	同時配付同時レク：道政記者クラブ及び下記の(総合)振興局記者クラブで配布します。

担当（連絡先）

環境生活部自然環境局自然環境課（担当者：課長補佐　永仮（ながかり））
電話 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ：011-204-5203（内線24-352）公用ｽﾏﾎ：011-585-6104（内線44280）
※各地域における個別の調査内容については、次の(総合)振興局環境生活課自然環境係までお問い合わせください。

区分	電話番号	区分	電話番号	区分	電話番号
空知総合振興局	0126-20-0043	日高振興局	0146-22-9254	釧路総合振興局	0154-43-9154
石狩振興局	011-204-5824	ｵﾎｰﾂｸ総合振興局	0152-41-0630	根室振興局	0153-23-6823
胆振総合振興局	0143-24-9577	十勝総合振興局	0155-26-9028		